

明治という新しい時代に、佐賀から沖縄に向かった第11代齋藤用之助。沖縄の近代化に寄与し、硫黄島島の島民の命を救った「神様」として、1933(昭和8)年に74歳で亡くなった後も沖縄の人々に慕われ続けています。

□沖縄の人々と心開いて対話

第11代齋藤用之助は1859(安政6)年、現在の佐賀市諸富町で生まれました。齋藤家は藩祖鍋島直茂の時代から佐賀藩に仕え、代々「用之助」を名乗っています。初代齋藤用之助、権右衛門(初代用之助の次男)、齋藤佐渡(初代用之助の父)は、佐賀の武士道書といわれる『葉隠』にも、その名が登場します。

幼少期には藩校弘道館で学び、19歳の時に警察官になりました。1889(明治12)年、鹿島藩主鍋島直彬が初代沖縄県令(県知事)として赴任します。同じ年、用之助も巡査として沖縄に向かいました。

沖縄県はもともと琉球王国という王制の国でした。日本政府が琉球王国を廃止し、沖縄県を設置したので、沖縄の人たちは「自



■第11代齋藤用之助 (第14代齋藤用之助 提供)



■硫黄島島

出典：海上保安庁ホームページ (<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/GIUTSUKOKUSAI/kaiikiDB/kaiyo35-2.html>)



分たちを抑えつけにきた」と用之助たちを心よく思っていないでした。

そこで、用之助は時間をかけて、地元の人たちと対話を続けていきます。のちに用之助は、「ヒージャー郡長」と呼ばれるようになります。ヒージャーとはヤギのことで、沖縄料理の「ヒージャー汁」を好んで食べる用之助に、沖縄の人たちも少しずつ心を開き、受け入れてくれるようになりました。37歳で首里区長兼中頭郡長、39歳で那覇区長兼島尻郡長に就任しました。

□島民の命を守るため移住を決断

1903(明治36)年4月、島尻郡内にある硫黄島島が大噴火し、島民に命の危険が迫ります。そこで用之助は、硫黄島島から約270km離れた久米島に、全島民を避難移住させようと決断します。当時、硫黄島島は中国貿易に欠かせない硫黄の産地だったため、「仕事なくなる」と心配する人や、「住み慣れた土地を離れたくない」という人がたくさんいました。用之助には、「多数決で決めるのはだめ。島民全員が納得しないといけない」という強い信念があったので、住民会議が行われるたびに硫黄島島に船で通い、一人一人の不安や希望を聞き取りながら説得していきました。

その一方で、用之助は、日露戦争勃発直前に政府と交渉して移住資金を集め、久米島に硫黄島島と全く同じ区割りの「字島島」地区を準備しました。場所は違っても、隣近所の顔ぶれなど、島と同じように暮らすことが安心につながると考えたからです。

やがて、島民全員が賛成し、大噴火から約8カ月後、3カ月の間に全島民の約700人が久米島に移住しました。

結果的に一人の犠牲者も出さず、全島民の避難移住を成功させた用之助は、今でも慕われています。



(第14代齋藤用之助 提供)

■硫黄島島と久米島字島島にある移住記念碑(移住100周年記念復刻碑)。毎年2月11日には島島移住記念式典が行われています。

□沖縄近代化の基礎を築いた用之助

用之助は、硫黄島からの避難移住のみならず、沖縄県営鉄道（ケービン鉄道*）や那覇港などの交通網も整備しました。また、若者に沖縄県外で農業や水産などの専門技術を学ばせて郡の役所で採用したり、学校を整備したりして人材教育を進めました。さらに、サトウキビの製糖工場を沖縄で初めて造り、砂糖組合を創設。サトウキビの積み出しや漁業振興のために造った港は「用之助港」と名付けられました。 *沖縄では、軽便鉄道のことを通称「ケービン鉄道」と呼んでいます。

1925（大正14）年、用之助は66歳の時佐賀に帰ります。その10年前の1915（大正4）年の島尻郡長退任の際は、約1万人もの沖縄の人が見送り、当時の地元新聞では、その様子を「空前絶後」と表現したほどでした。

沖縄の人たちの気持ちを汲み取り、寄り添う姿勢を貫いて厚い信頼を得て、沖縄の近代化の基礎を築いた用之助。沖縄に尽くした根底には、「葉隠四誓願」の一つ「大慈悲を起し人の為になるべき事」の教えがありました。

□用之助が結ぶ佐賀県とのつながり

用之助が結んだ佐賀県と沖縄県の間には、今も続いています。2012（平成24）年から佐賀市と久米島の中学生の交流が始まりました。また、2016（平成28）年には、伊万里市と久米島町、佐賀大学の三者が久米島にある海洋温度差発電の実用実証設備及び海洋深層水関連で連携協定を結びました。それをきっかけに小学生や市民、企業の間にも相互交流が進んでいます。



■久米島 ハテの浜で皆で一緒に未来に向かってジャンプ (第11代齋藤用之助顕彰会事務局 提供)

— 第4章 —

佐賀県の 文化

